

# 韓国の EBS English 放課後英語教室の教材分析

カレイラ松崎順子\*1

Email: carreira@tku.ac.jp

\*1: 東京経済大学現代法学部

◎Key Words e ラーニング, 韓国, 英語

## 1. はじめに

韓国では収入の違いが教育機会の不平等を招くといういわゆる教育格差が大きな社会問題となっており、これらの問題を解決するために韓国政府は韓国教育放送公社の発展に力を注ぎ、2007年に英語の教育番組を専門に放送する EBS English (EBS e) を開始した。さらに、2011年9月には EBS e のホームページ上に「EBS English 放課後英語教室」の e ラーニングシステムを開発し、その運営を開始した。「EBS English 放課後英語教室」は2007年改訂教育課程や検定教科書にそって制作されており、また、国家英語能力評価試験にも対応している。本発表では韓国の「EBS English 放課後英語教室」の小学3年生から中学3年生を分析し、学年があがるにしたがって構成や内容がどのように変化していくのかを明らかにしていく。

## 2. Korean Educational Broadcasting System English (EBS e)

韓国では小学6年生の約7割が英語学習のために、塾や家庭教師を利用しているといわれている。ゆえに、塾が多い都市と塾やその他の学習手段が乏しい地方では英語の学力格差が生まれている。たとえば、韓国では毎年小学6年生を対象に「国家水準学業成就評価」という全国規模の学力テストを実施しているが、都市と地方における点数差は英語が最も著しく、そのような問題を解決する方策の一つとして、政府は多様なマルチメディア資料や Information and Communication Technology (ICT) ツールを活用することを奨励している。これらのメディアの代表であり、政府が最もその発展に力を注いでいるのが、2007年4月に開局した英語番組専門放送チャンネルである EBS e である。

EBS e は衛星放送とともにケーブルテレビでも配信されており、韓国全世帯の約8割が視聴可能であり、日本の文部科学省にあたる韓国の教育科学技術部が財政支援を行っている。EBS e は学校の授業でも自宅でも学習できる。現在、ホームページ上に幼児向けの番組が30 (e.g., Art Classic Stories, Baby Peekaboo), 小学生向け番組が75 (e.g., La La La Happy School, I love Reading), 中学生向けの番組が69 (e.g., Rainbow English, Enjoy Stories), 高校生向けの番組が13 (e.g., Debate Survival, Korean Culture), 一般および父兄のための番組が40 (e.g., World News Review, English 119), 教師用の番組が11 (e.g., Teachers' Guide3-Native Teacher, Teachers' Guide2 - Middle School) あり、ほとんどの番組がホームページ上から視聴することができ、レベルテストやゲームなども行う

ことができる。

## 3. 放課後学校

1960年代から私教育が深刻な問題となりはじめ、これに伴い私教育費負担軽減のために、1968年と1973年に各々中学校無試験進学制と高校準標準化政策が実施された。さらに、1980年には学校外での私教育全面禁止という極端な政策が樹立されたが、かえって、高額な授業料を要求する不法の塾などが増えるなど様々な問題が現れるようになり、2000年以後は私教育全面禁止の政策は白紙に戻された。しかし、相変わらず私教育費は国民の大きな負担として残ることになった<sup>(1)</sup>。

このような中、1995年頃から「放課後学校」の前身である「放課後教育活動」が始まった。「放課後学校」とは義務教育の補習授業というよりも、塾などで行う授業を学校内で安く受けられるようにしようという趣旨で導入されたもので、多様な教育機会提供というよりは私教育費節減という社会経済的機能の目的がより強調されている。なお、2003年末から「放課後学校」という用語が使われるようになった<sup>(2)</sup>。

## 4. EBS English 放課後英語教室

2011年9月に「放課後学校」のための教材として、EBS e は「EBS English 放課後英語教室」を開発し、その運営を開始した。「EBS English 放課後英語教室」は2007年改訂教育課程や検定教科書にそって制作されており、また、国家英語能力評価試験にも対応している。「EBS English 放課後英語教室」の教材は、授業に活用することができるように、現行の正規教育過程と教科書を基盤に学年別に1学期を1段階として初等学校12段階、中学校6段階からなり、正規の授業との関係を強化し、多様な教授・学習資料(クリップ型講義動画、フラッシュ、アニメーションなどウェブコンテンツ)、評価質問項目、英会話・英作文練習プログラムなどを開発して提供している。また、各自が簡単な試験を受け、実際の学年に関係なく、レベルにあった段階から学習を始めることになっており、「初等プログラム」、「中学・高校プログラム」、および「英会話・英作文練習プログラム」の3つにわかれている(表1,2,および3を参照)。正規課程の他、長い休み期間用のプログラムやフォニックス、英会話、英作文、および語彙の練習プログラムも用意されている。

「EBS English 放課後英語教室」の正規課程の全体的な特徴として以下のことがあげられる。

- Level 1 以外は 2007 年改訂教育課程にそって作成されており、学校の英語の授業を補完する番

組である。

- 番組の視聴した後にそれに関連したゲームを行うようになっている。
- 韓国人講師が韓国語と英語で説明しながら番組を進めており、学校で授業を受けているような雰囲気である。特に、Level が上に行くにしたがって、韓国語での文法説明が丁寧に行われている。

表1 初等プログラム

区分	レベル	段階	学年	プログラム構成	学習方式
正規課程	Level1	4段階	1-2年生	128時間 フォニックス中心	統合学習
	Level2	4段階	3-4年生	128時間 正規教育課程中心	無学年・水準別に運用
	Level3	4段階	5-6年生	192時間 正規教育課程中心	無学年・水準別に運用
休みの課程	Level1-3	12段階	1-6年生	180時間 休みの遊び中心の活動	無学年・水準別に運用

表2 中学・高等学校プログラム

	レベル	段階	学年	プログラム構成	学習方式
正規課程A	Level14	4段階	1-2年生	192時間 フォニックス中心	統合学習
	Level15	2段階	3年生	128時間 正規教育課程中心	無学年・水準別に運用
正規課程B(英語母語話者)	Level14	4段階	1-2年生	288時間 正規教育課程中心	無学年・水準別に運用
	Level15	2段階	3年生		無学年・水準別に運用
休みの課程	Level14-5	6段階	1-3年生	90時間に分類で 総6段階 冬休み・夏休みの英語の能力向上	無学年・水準別に運用

各 Level の特徴としては以下のようなことがあげられる。

#### Level 1 (小学1・2年生レベル)

- フォニックス中心である。
- アニメが多く使われている。
- 韓国人講師が韓国語でアルファベットやフォニックスの説明を行いながら講義を進めている。

#### Level 2 (小学3・4年生レベル)

- 2007年改訂教育課程にそって番組が作られており、日常生活の簡単な表現が多い。
- アニメと英語母語話者によるスキットが多い。
- Level 1 と比べて英語が多く話されている。

#### Level 3 (小学5・6年生レベル)

- 2007年改訂教育課程にそって番組が作られており、簡単な対話を聞いて理解したり、話したりする問題が多い。
- Level 2 よりもかなり長い英文が話されている。

#### Level 4 (中学1・2年生レベル)

- 2007年改訂教育課程にそって番組が作られており、使われている題材が一般的な主題に関する親近感が持てる内容の話や対話が多い。
- 英語母語話者によるスキットが多い。
- 韓国人講師による文法や語彙などの説明が Level 3 よりも詳しくなる。

#### Level 5 (中学3年生レベル)

- 2007年改訂教育課程にそって番組が作られており、比較的長い指示や説明を聞いて理解するような対話が多くなる。

表3 英会話・英作文練習プログラム

	レベル	段階	学年	プログラム構成	学習方式
フォニックス	Level1	4段階	初等1-2年生	アルファベットの書き方と発音・基礎単語に慣れ親しむフォニックスプログラム	統合学習
英会話	Level2	4段階	初等3-4年生	英会話力強化のためのプログラム 教科課程に連結した水準別カリキュラム	無学年・水準別に運用
	Level3	4段階	初等5-6年生		
	Level4	4段階	中学校1-2年生		
	Level5	2段階	中学校3年生		
英作文	Level2	4段階	初等3-4年生	英作文強化のためのプログラム 教科課程に連結した水準別カリキュラム	無学年・水準別に運用
	Level3	4段階	初等5-6年生		
	Level4	4段階	中学校1-2年生		
	Level5	2段階	中学校3年生		
語彙	Level2	4段階	初等3-4年生	基本語彙を各学年別に学習できるプログラム	無学年・水準別に運用
	Level3	4段階	初等5-6年生		
	Level4	4段階	中学校1-2年生		
	Level5	2段階	中学校3年生		

## 5. おわりに

「EBS English 放課後英語教室」は学校で教員より授業を受けているような構成になっており、塾などに行かなくても、児童が1人で自分のレベルにあった学習ができるようになっている。小中学校の連携もスムーズに出来ており、児童の認知や興味に合わせて制作されているような印象を受けた。今後は「EBS English 放課後英語教室」を児童がどのように評価しているのかを調査する予定である。

### 謝辞

本発表はH24～H26年度科学研究費助成金基盤研究(C)課題番号24520714による研究成果の一部である。

### 参考文献

- (1) バク・ソヨン：「放課後学校とEBS 修能講義の私教育費軽減」, *The Journal of Educational Administration*, 26, pp.391-411(2008).
- (2) 同上